

春日部税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞

たくさんの思いがつまったお守り

白岡市立菁莪中学校 二年

斉 木 悠 真

二月半ば頃、母から一本の電話がかかってきた。僕は受話器を取った。そして母は僕に衝撃的な話をはじめた。

「ひいおばあちゃんがたった今、救急車に運ばれていったよ。」

と僕に言った。僕は曾祖母が大好きだ。たまにお小遣いをくれるし、なにしろ曾祖母の話はかなりおもしろい。そんな曾祖母が病院に運ばれたことは初めは信じられなかった。大人しかお見舞いには行けなかった。曾祖母は誤嚥性肺炎という病気だった。しだいに回復していると聞いたが僕はそれが本当のようには思えなかった。数ヶ月後、今度は親友から連絡がきた。あまりにも衝撃的な内容だった。「ひいおばあちゃんが亡くなった」

その言葉を聞いたとたん泣きそうだったがぐっとこらえた。葬式が終わり涙をこらえながらも家に帰った。

数日後、曾祖母からもらったある形見を見つけることができた。紐のついた五円玉だ。これは今から三年前、曾祖母が思い出の種だからと言い僕に渡した。そして曾祖母は急に税金に関する話をしてきた。

「もう体も弱ってきたから、もうすぐ救急車に運ばれていくかも知れない

な。救急車はええんよなあ。税金があるおかげでいちいち払わねえで済むんだよ。」

税金は家族から話を聞いていた。初めは税金が嫌いだった。例えば、買い物に行ったとき消費税がついて余分に払わなければならないからだ。それが勿体無い気がした。そのことを曾祖母に話すと、

「税金がなくなると悠ちゃんが何気なく使っている教科書や事故や火事になったときに駆けつける警察や消防だって全て有料になっちまうんだよ。いちいちお金を払わなければならない。困るだろ。」

初めはこの話が信じきれずインターネットで調べると色々出てきた。警察や消防以外にもゴミ収集が来なく例え来たとしても有料。公立図書館や学校が建てられなくなる。税金がないと困ることがたくさんあることを知った。ちなみに消費税はただお金を払われるだけではなく少子化対策に使われていた。僕は、「税で対策をしてるなんてすごいね。税金がとても大切であることを知ったよ。」

「そうだね。大切であることを理解してくれて、おばあちゃんも嬉しいよ。最後に、この紐をついた五円玉をあげよう。それはおばあちゃんの思いがつまったお守りだよ。」

と言った。

曾祖母は亡くなってしまったが税金のことは今もよく考えている。税金はみんなが必要としてることのために、お金を出し合って負担をしていること

に気づけた。もし曾祖母がこの話をしていなければ税金の新しい発見を見つけることができなかっただろう。亡くなった曾祖母には、たくさん思いがまつたお守りをくれたことに感謝している。